

教科	保健体育	科目	保健	単位数	1単位
学科	全学科	学年	2学年		
学習目標	心身の健康や安全に関心を持ち、意欲的に学習し、自ら健康で安全な生活を実践できるとともに、健康・安全の意義及び解決に役立つ基礎的事項を理解し、知識を身に付ける。また、心身の健康や安全に関する課題を見つけることができる。				
学習内容	学習項目		評価規準【評価の観点】		
	第2章 生涯を通じる健康 1 思春期と健康 2 性への関心・欲求と性行動 3 妊娠・出産と健康 4 避妊法と人工妊娠中絶 5 結婚生活と健康 6 中高年期と健康 7 医薬品とその活用 8 医療サービスとその活用 9 保健サービスとその活用 10 さまざまな保健活動や対策 第3章 社会生活と健康 1 大気汚染と健康 2 水質汚濁、土壌汚染と健康 3 環境汚染を防ぐ取組み 4 ごみの処理と上下水道の整備 5 食品の安全を守る活動 6 働くことと健康 7 働く人の健康づくり		<ul style="list-style-type: none"> ・生涯の各段階に応じ、自己の健康管理について関心を持つことが必要であることを理解し、課題を見つけ、日常生活に当てはめて適切な行動が選択できる。【A・B・C】 ・異性を尊重する態度を育て、適切に行動することの重要性を理解している。【A・B・C】 ・受精・妊娠・出産について理解し、家族計画や受胎調節の意義と、人工妊娠中絶の心身への影響について理解している。【A・C】 ・結婚と家庭生活について、どのようなことが基盤となるか、保健の立場から知識を身に付けようとしている。【A・B・C】 ・加齢に伴う心身の変化や、健やかに老いるための留意点を学ぼうとしている。【A・C】 ・保健・医療制度や医療機関について、適切な活用が必要であることを知り、活用の仕方を考え、課題を見つけようとしている。【A・B・C】 ・民間機関・国際機関などの保健活動や対策について、例をあげて説明できる。【A・C】 ・自然環境の汚染と健康への影響及び対策について、課題を見つけ、解決の方法を考えることができる。【A・B】 ・環境衛生や食品衛生に関する基準や活動について課題を見つけ、健康の保持に適した解決の方法を考えることができる。【A・B】 ・人間の生活や産業活動は、自然環境を汚染し健康に影響を及ぼし、そのための対策がとられていることを知っている。【C】 ・食品の安全性を確保するための基準が設定され、食品衛生活動が行なわれていることを知っている。【C】 ・職業病や労働災害の防止について課題を見付け、意欲的に学習し、健康の保持に適した解決の方法を考えることができる。【A・B・C】 ・職業病や労働災害の防止には健康管理及び安全管理を行うことが必要であることを知っている。【C】 		
評価の観点	【A】関心・意欲・態度 【B】思考・判断 【C】知識・理解				
評価方法	出席状況、授業への取組姿勢、定期考査、レポート等による総合評価				
教科書等	最新高等保健体育（大修館書店）、最新高等保健体育ノート（大修館書店）				
備考					

※評価規準は、学習の到達目標でもあります。